

# 世界の 風

## 第2回 「平和へのねがい」と ロシアのウクライナへの侵攻

ポーランド 編



①ラデガスト駅舎／②「働けば自由になれる」アウシュビッツ収容所の入り口／③首都ワルシャワのデモ行進／④マイダネクの慰靈碑／⑤ザモシチでフォークダンサーたちと

約1年間生活したポーランドのウツジには、おしゃれなピヨトルコフスカ通りがあり、公園も多い町でした。しかし、戦中ナチス・ドイツの侵攻により巨大なウツジ・ゲットーが設立された地域であり、博物館には収容所に送り出したラデガスト駅と列車が展示してありました。近くのユダヤ人墓地には戦前のユダヤ人富豪とともにゲットーで亡くなつた方々の墓がありました。

昨年2月20日にアウシュビツ・ビルケナウ絶滅収容所に行きました。平和へのねがいをより強くした直後の2月24日にロシアによるウクライナへの侵攻に強いショックを受けました。

ウツジにも多くの方々がウクライナから避難して来ました。受け入れ施設や案内所が設けられ、多くの市民が支援活動をおこなっていました。また、戦争反対の集会やデモ行進などがおこなわれました。

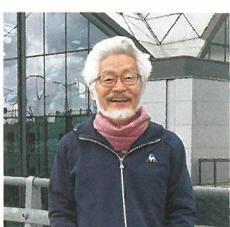
約1年間生活したポーランドのウツジには、おしゃれなピヨトルコフスカ通りがあり、公園も多い町でした。しかし、戦中ナチス・ドイツの侵攻により巨大なウツジ・ゲットーが設立された地域であり、博物館には収容所に送り出したラデガスト駅と列車が展示してありました。近くのユダヤ人墓地には戦前のユダヤ人富豪とともにゲットーで亡くなつた方々の墓がありました。

昨年2月20日にアウシュビツ・ビルケナウ絶滅収容所に行きました。平和へのねがいをより強くした直後の2月24日にロシアによるウクライナへの侵攻に強いショックを受けました。

ウツジにも多くの方々がウクライナから避難して来ました。受け入れ施設や案内所が設けられ、多くの市民が支援活動をおこなっていました。また、戦争反対の集会やデモ行進などがおこなわれました。

約1年間生活したポーランドのウツジには、おしゃれなピヨトルコフスカ通りがあり、公園も多い町でした。しかし、戦中ナチス・ドイツの侵攻により巨大なウツジ・ゲットーが設立された地域であり、博物館には収容所に送り出したラデガスト駅と列車が展示してありました。近くのユダヤ人墓地には戦前のユダヤ人富豪とともにゲットーで亡くなつた方々の墓がありました。

もう戦争をしないと定めた憲法をもつ日本でも、現政権が戦前と同じ道にすすもうとしているように思えます。日本から全世界に向けて、戦争ではなく平和へすすむよう、言論で働きかけてほしいとねがいます。



児玉正文

日本語講師  
ブルガリア在住